

第 1 回 村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議 会議録

日 時	令和 2 年 11 月 30 日（月）午後 3 時 30 分～午後 5 時 10 分
場 所	東海村役場 行政棟 5 階 原子力視察研修室
出席者	・各村立幼稚園長（4 名） ・各村立幼稚園職員（8 名） ・指導室（1 名） ・子育て支援課（4 名） ※第 1 回目については各幼稚園長出席，保育所及びこども園の職員は未参集。
次 第	1. 開会 2. 子育て支援課長挨拶 3. 議題 （1）「村立保育所，幼稚園等に関する再編整備基本計画」の見直しについて （2）「村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議」について （3）その他 4. 閉会

1. 開会

2. 子育て支援課長挨拶

今回は第 1 回目の開催のため，各幼稚園から選出いただいた主幹教諭と指導教諭または教諭のほかに，各幼稚園長にも出席いただいている。また，保育所やこども園からの職員選出については任意としていた中でも 1 名ずつ選出いただいている。今日は保育所職員やこども園職員は出席していないが，保育所に勤務する職員も，今後，幼稚園に勤務する可能性がある中で，ワーキングを通して課題等を一緒に考えてもらいたいと考えている。現場で働く皆さんのご意見を伺いながら，一緒によりよいアイデアを出していければと思っている。

（挨拶後，名簿順に自己紹介）

3. 議題

（1）「村立保育所，幼稚園等に関する再編整備基本計画」の見直しについて

- ・再編整備基本計画の見直しについて確認。
- ・村立幼稚園の再編に向けた保護者アンケートについては，村内在住の 0～6 歳児の子ども保護者約 1,600 世帯を対象にアンケートを送付し，村立幼稚園に対するニーズやご意見を伺い，今後のワーキング・チームや検討会議での協議・検討を行う上での参考としていく。
- ・これから村松幼稚園への統合に向けて前に進んでいくためにも，どのようにしていけば保護者の方々や子どもたちへの負担が極力ないようになれるか，まずは令和 4 年度入園の家庭が入園先を選択するために必要な事項について方向性をまとめていく。

(2)「村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議」について

- ・本会議の目的や主な協議事項等について確認。
- ・会議の進め方については、入園先の選択に大きな影響を及ぼすと考えられるものを優先的に協議していく。
- ・協議状況については、結果を随時公表するとともに、令和4年度入園申込みの半年前（令和3年5月末）を目途に検討結果を取りまとめて公表する。
- ・今後、検討会議は人選がまとまった後に設置し、随時開催していく。ワーキング・チームは月1ペースで開催していく予定。
- ・アンケートは1月中に集計し、検討会議やワーキング・チームなどでも結果を共有していく。
- ・相談窓口は1月に設置予定。アンケートが計画に対する全体的な意見とすると、相談窓口は通園やクラスなど個別の不安や相談について対応するものである。個人のプライバシー等もあるため、電話や面談だけでなく専用メールアドレスを作成しメール相談にも対応する。

【質疑応答】

- Q. 年度が切り替わり、ワーキング・チームの職員に異動があった場合はどうするのか。
- A. ワーキング・チームのメンバー職員同士が入れ替わる形で各園の選出人数に合っていればそのまま継続できると思うが、構成員に影響が出る場合については追って検討する。
- Q. アンケート対象者が未就学児（0～6歳児）の保護者としているが、対象となる家庭にはどのように通知、調査するのか。
- A. 村内に住む未就学児（0～6歳児）を持つ保護者全員（およそ1,600世帯）へ直接郵送して実施する。回答方法は原則「いばらき電子・申請届出サービス」を利用したオンラインによる回答とし、オンライン回答に対応できない家庭については同封されるアンケート用紙に記入して役場や図書館に設置される回収BOXへ投函してもらう。

(3) その他

「村立保育所、幼稚園等に関する再編整備基本計画」の見直しに対し、保護者より提出された意見を確認するとともに、それらに対する感想や現場で感じていること等について意見交換を行った。主な発言は、以下のとおり。

保護者からの意見について

- ・計画の見直しについては、保護者からは急すぎると言われた。計画は変わらないと分かっているけど、その不安をどこへぶつけたら良いのか混乱している様子。
- ・説明会を聞いてショックを受けた保護者はたくさんいる。
- ・予想以上に保護者の方たちが村立幼稚園を大切に思っているのだと感じた。
- ・村松幼稚園の保護者は、施設や通園などに関してはあまり心配はしていない様子。しかし、他園から村松幼稚園に統合することで人が多くなることについては少し心配されている様子。

村松幼稚園への統合に向けて

<教育・保育内容>

- ・自然にふれる機会や地域に根差した活動など、今の幼稚園の環境がよくて選んだ保護者もいるので、立地は違っても村松幼稚園でもそのまま活かせるところを引き継いでいけたらと思う。
- ・子どもは大人数の中でもまれながら成長することも必要かもしれないが、少人数で手厚い保育が受けられるアットホームな雰囲気になんか安心できるのかなとも思う。褒められて自信を持つことで、小学校でものびのびと生活できると思う。
- ・それぞれの幼稚園に良いところもあれば、足りていないところもあると思う。保護者の中には、少人数がいいと思う方や、自然が多いことや地域性のある環境がいいと思う方がいるなかで、村松幼稚園にどこまで取り入れていけるか。
- ・東日本大震災で被害のあった年に行事を減らそうとしたことがあったが、保護者からは反対意見が多かった。園の行事も幼稚園を選ぶ判断材料になるだろう。
- ・入園先の選択基準が何かと考えたときに、私立幼稚園には「特色」があると感じる。公立幼稚園を選択してもらうためにも「特色」を打ち出すことが大切ではないかと思う。
- ・今年度は未就園児の園庭開放を増やしたり、説明会を行ったりと工夫をしてきたが、来年度以降の対応についても考えていかなければと感じている。
- ・保育時間の延長については、一律ではなく年齢によって考える必要がある。
- ・預かり保育が拡充して利用者が増えた場合、保育室の確保の問題も生じる。

<幼小連携>

- ・村松幼稚園に統合しても、卒園した後はそれぞれの地区の小学校に通うことになるため、幼小連携は大切である。
- ・幼小交流は大事だと思うが、実際どうにかやるといっても難しいところがあると思う。
- ・幼小連携は幼稚園側だけでなく小学校側にもメリットはあると思う。小学校区に幼稚園がなくても、村内の全小学校と交流を行えるようにできるとよい。

<保護者関係>

- ・保護者同士の付き合いに関する意見があったが、実際に保護者間でグループに分かれてしまうなど難しいこともあるようだ。親の悩みは子どもにも影響が出るため、親のケアも必要だと考える。

<地域との関係>

- ・統合へ向けて地域の理解も必要ではないか。地域へ事前に、統合によって人が多くなる時間帯などを知らせておくのと良いのでは。

<給食・お弁当>

- ・保護者への説明等で「お弁当や給食の提供」について話をしているが、給食室の問題やお弁当の一時的な保管場所などの課題が多く、できるかどうかを考えてから出すべきではないか。
- ・石神幼稚園は少人数の学級であることや給食があることが良いと保護者から話を聞く。やはり毎日のお弁当は保護者にとっては大変で、給食があることはひとつの魅力なのではと感じた。
- ・園舎を新設するのではないため、村松幼稚園で給食を提供することとなった場合は園児数に対してどうやって給食を提供するのか、現場の状況や職員の配置などの課題について話し合う必要がある。

＜職員体制等＞

- ・支援を要する子ども一か所に集約されることにより、統合後の職員の配置も大変になるだろう。

＜設備等＞

- ・村松幼稚園の園庭は広いが、教室から遊具が遠く目も届きにくい。検討の段階では園庭の作りまで含めて考えられると良い。
- ・村松幼稚園の保護者としては一番駐車場のストレスが多い。周辺住民の方からも交通マナーについて厳しい意見をいただくこともある。
- ・村松幼稚園は比較的新しいと言われるが、建物も老朽化している部分がいくつかあるので、今のままでは無理があると思う。
- ・東日本大震災の時には小学校などの施設の一部を借りたことや、バス通園の経験もある。

＜災害時対応＞

- ・災害時などの引渡しの心配は多いと思う。迎えに行く方法や引渡しの方法など不安を取り除ける説明などがあるといい。

＜感染症対策＞

- ・新型コロナウイルスもいつかは収束すると思うが、感染症を考えるとその対策等に課題もある。統合の時まで新型コロナウイルスが続いていたら密になるので心配。

＜その他＞

- ・「そもそもなぜ村立幼稚園の利用者が減ってしまったのかを考えて欲しい。」という意見を読んで、まさにその通りだと思った。子育ての推進は村全体で協力していかなければ、いずれ村松幼稚園すらなくなってしまうのでは。
- ・働きながら幼稚園に通わせている保護者のニーズにも応えていく必要があるのではと思う。
- ・不安なく統合ができるよう、少しでも入園の判断材料があればと思う。
- ・統合に向けて現場の職員も一緒に前向きに考えていかなければならない。村松幼稚園が吸収することではなく、名前は村松幼稚園でも、新しい村の公立幼稚園を作っていくという意識が必要。現実問題とあわせて考えていかなければならないが、従来の考えではなく、新しい発想も必要。
- ・課題解決には、現場をよく知る職員の経験とアイデアが必要。ハード面などは役場との協議や連携も必要となるが、ソフト面は幼稚園職員だけで考えられることもある。
- ・子どもたちの安全と子どもたちの未来を考えて検討していくことが必要。
- ・保護者の立場も考えるために、幼児教育・保育の原点を忘れてはいけないと思う。
- ・地域に根差した村松幼稚園とするために、保護者からの意見も踏まえて、問題が繰り返されることのないよう、多くの課題を考えていかないといけないと思う。

4. 閉会

第2回目の開催については、後日、日程調整を行い、開催日を決定する。